

平成29年1月27日

会員 各位

山田地域自治振興会
会長 吉田良雄
<公印省略>

牛岳温泉健康センター外3施設の運営継続を求める陳情について

寒冷の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃から、当自治振興会にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、富山市商工労働部観光政策課所管施設（牛岳温泉健康センター、ささみね、グリーンパレス、木MAMA）につきまして現在、施設の廃止も含めて見直しが検討されています。去る1月13日の総代会におきましても当局からの説明がありましたが、自治振興会では到底納得し得るものではありませんでした。そこで、施設の運営継続を訴えるべく、下記により署名簿を作成し市へ提出する予定としております。

つきましては、何卒趣旨をご理解いただき、署名へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 資料（ホッチキス止めしたもの）

- P 1～ 2 陳情書
- P 3～ 9 市からの提示資料
- P 10～11 質疑応答

2. 署名簿

各世帯に配布いたしますので、なるべく多くの方の記入をいただき
2月11日（土）までに各集落総代さんへ提出をお願いいたします。

※氏名につきましては自筆でお願いいたします。

3. その他

ご意見等あれば自治振興会へお聞かせください。

自治振興会事務局

TEL 457-2111

FAX 457-2259

牛岳温泉健康センター外3施設について（陳情）

富山市長 森 雅志 様

平成29年2月 日

山田地域自治振興会

平成29年1月13日に開催した山田地域自治振興会総代会での観光政策課からの提示された「市の方針」に対して地域内で意見集積した結果、次のように回答いたします。

富山市の方針（案）

【牛岳温泉健康センター】は当面の間、継続して運営する。

【グリーンパレス】は冬季間（スキー場を運営している間）の食堂のみとする。

【ささみね及び木MAMA】は、平成29年度で廃止する。

【スキー場】は当面の間、直営で運営する。

公共施設利活用チームの方針

【牛岳温泉健康センター・ささみね・グリーンパレス・木MAMA】

「原則として、指定管理終了時（平成29年度末）をもって施設を廃止する。
ただし、民営化による存続についてもあわせて検討する。」

【スキー場】

「当面は、現行による運営を継続しながら、スポーツ施設として、持続可能な運営方法について検討する。」

山田地域自治振興会総代会での説明

上記富山市の方針（案）に対して承諾出来ない場合は公共施設利活用チームの方針に従い事業実施する。

山田地域自治振興会からの回答

牛岳温泉健康センター外3施設は交流・観光施設として地域の活性化にその各々の機能を発揮してきており、「スキーといで湯の里やまだ」の中心施設である。また、住民にとっては大切な雇用の場でもあるため、そのどれを廃止されることも地域にとっては大きな痛手である。そしてその結果、益々人口減となり過疎化に拍車をかけ、地域全体の疲弊が進行することとなる。そのため、どれをも存続させることを切望したい。

しかしながら、市全体の財政事情も考慮しなければならないことは市民としての義務であることより、提示された施策案についても理解しなければならない。そのため、このことを踏まえて山田地域自治振興会として次のように要望したい。

平成29年1月13日

牛岳温泉健康センター外3施設及びスキー場の方針について

1. 利用状況及び収支について

【牛岳温泉健康センター・ささみね・グリーンパレス・木MAMA】(単位：千円)

年度	利用者数(人)				売上高	指定管理料
	休憩	入浴	宿泊	計		
19	—	—	—	151,333	160,141	—
25	5,294	95,966	8,420	109,680	87,543	49,634
26	5,796	68,365	8,053	82,214	89,247	48,722
27	4,588	47,911	9,890	62,389	88,878	63,180

【宿泊稼働率】

(単位：人、%)

施設	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率	稼働率
ささみね	11.8	10.4	12.4	12.6	18.4
木・MAMA	12.1	12.4	12.6	11.1	14.1
グリーンパレス	10.4	12.8	10.9	11.0	8.4

【牛岳温泉スキー場】

(単位：千円)

年度	利用者数(人)	収入	支出	差額
25	65,630	125,855	168,033	△42,178
26	64,700	117,105	166,305	△49,200
27	34,330	61,370	151,376	△90,006

2. 公共施設利活用チームの方針

【牛岳温泉健康センター・ささみね・グリーンパレス・木MAMA】

「原則として、指定管理終了時(平成29年度末)をもって施設を廃止する。

ただし、民営化による存続についてもあわせて検討する。」

【スキー場】

「当面は、現行による運営を継続しながら、スポーツ施設として、持続可能な運営方法について検討する。」

3. 富山市の方針(案)

- ・牛岳温泉健康センターは当面の間、継続して運営する。
- ・グリーンパレスは冬季間(スキー場を運営している間)の食堂のみとする。
- ・ささみね及び木MAMAは、平成29年度で廃止する。
- ・スキー場は当面の間、直営で運営する。

指定管理者（株石橋）が行ってきた管理業務の実施状況

1. 利用者アンケートの実施・継続

利用者のニーズに対応できるように、利用者アンケートを継続し、アンケート結果は定期的に集計し、朝礼等で全従業員に回覧を行っている。また、データ化して即座に改善が可能か検討事項に区別した上で、改善可能案件は従業員に周知・徹底し実行してきました。

2. 食堂メニューの多様化

リーズナブルな麺類から、おまかせ定食・牛岳定食などボリューム満点の定食まで価格ラインを広げて、利用者ニーズに応える工夫をしました。

また、牛岳温泉植物工場の建設に伴い、「えごま」に関する定食をメニュー化し健康志向の利用者に好評を得ました。

クリスマスやバレンタイン等季節に合わせて特別限定メニューを設定し、利用促進を図りました。また、冬期間のグリーンパレスはヤング層からファミリー層まで幅広く対応できる様、カレーやうどん等の軽食からモツ煮やカツ丼等、満腹感が出せる料理まで幅広く提供しました。

3. 各種イベントの実施

毎月 26 日を「風呂の日」と定め、館内掲示板やHP上で告知を行った上で「りんご風呂」や「ひのき風呂」等を毎月実施しました。

また、レストラン前の通路において「とやまの農山村写真」展を実施し、多数の利用者に風景写真を楽しんでいただきました。

4. SNSの活用

牛岳温泉健康センターでは「牛岳温泉日記」ブログを通して、牛岳温泉健康センターやグリーンパレスでのレストランや売店のお得な情報を発信し、アクセス者に興味を抱かせる内容としています。

また、同時にフェイスブックも活用し、施設内のトピックスや地域の情報等を常時アップしています。

5. 旅行サイトの活用

インターネット旅行サービス「楽天トラベル」「じゃらん」で利用者に対して予約情報を掲載しました。利用者からコンスタントな予約が入り、効果が見受けられます。

1 公共施設利活用検討チーム報告書で対象とした施設の現況

No.	用途別区分	公の施設のうち建物がある施設数 A	公共施設の利活用に関する報告書で具体的見直し方針が示されている施設数 B	H27末までに実施済みの施設数 (管理・運営の見直しのみは除く) C(※)	未実施の施設数 (B-C)
1	ホール、会館	13	2	2	0
2	博物館、美術館等	23	5	1	4
3	レクリエーション施設	27	18	2	16
4	交流、集会	104	12	9	3
5	福祉施設	82	0	0	0
6	体育施設	50	5	5	0
7	産業振興施設	19	5	3	2
8	市営住宅	42	0	0	0
9	学校、幼稚園	106	0	0	0
10	図書館	24	1	1	0
11	庁舎等	73	0	0	0
12	合計	563	48	23	25

※管理・運営の見直しとして、年間使用券の廃止(大沢野健康福祉センター、浜黒崎キャンプ場、白樺ハイツ、八尾ゆめの森)

2 見直し実施済みの施設の内訳

(1)平成27年度中に実施したもの

No.	施設名称	所管部局	検討チームの方針	実施済みの内容	廃止の手続き状況	留意点・備考
1	大沢野文化会館	企画管理部	H28年を目処に廃止し、近隣の代替施設を活用する。	平成28年度末に施設を廃止する。	政策調整会議に諮り、H28年度末の施設廃止を政策決定した。H29年3月条例廃止の予定	取り壊す際には、共有となっている大沢野生涯学習センターの燃料タンクを新設する必要がある。
2	大山文化会館		H28年を目処にホールは廃止し、図書館棟は残す。小規模な行事については、近隣の代替施設を活用し、入場者の多い演奏会、発表会等については、市内の他のホールを活用する。	平成30年度末に施設を廃止する。	政策調整会議に諮り、H30年度末の施設廃止を政策決定した。H31年3月条例廃止の予定	今後図書館棟の管理方法を検討する。
3	富山市錬成館	市民生活部	H28年を目処に廃止し、代替施設について検討する。	H28年3月末をもって、廃止	H28年3月議会で、施設の廃止条例を議決予定	H28年中に取り壊し予定
4	牧体育館		建物の老朽化や利用状況を考慮し、廃止又は休止の方向で地元と協議を進め、平成27年度までに方針を決定する。	H28年3月末をもって、廃止	H28年3月議会で、施設の廃止条例を議決予定	当面の間は取り壊さず、普通財産として管理
5	浜黒崎キャンプ場	商工労働部	稼働率が極めて低い冬季(12月～3月)は営業しない。可能な限り早く廃止する。	H28年3月末をもって廃止し、民間へ建物は無償譲渡・土地は無償貸与	H28年3月議会で、施設の廃止条例及び建物の無償譲渡及び土地の無償貸付の件を議決予定	現状復旧の担保については、覚書を締結する。
6	水橋商工文化会館		平成27年度までは富山市北商工会が指定管理しており、27年度末で廃止し、近隣の代替施設を活用する。	H28年3月末をもって、廃止	H25年3月議会で、施設の廃止条例を議決	県からの移転補償費等を財源に、市がH28年中に取り壊し予定
7	極楽坂エリア無料休憩所		使用しないこととし、近隣の代替施設を活用する。	平成28年11月に解体済み	—	跡地に、簡易なプレハブ小屋を設置し、パトロール隊の詰め所として利用する。
8	細入特産品加工施設		施設の更新は行わず、地元へ譲渡することが望ましい。	H28年3月末をもって、廃止	—	近隣の住民へ建物及び土地の売却について交渉中
9	細入木工品加工施設	施設の更新は行わず、地元へ譲渡することが望ましい。	H28年3月末をもって、廃止	—	H28年中に取り壊し予定	
10	道島地区農村集落多目的共同利用施設	農林水産部	H28年を目処に維持管理している自治会へ譲渡する。	H28年3月末をもって廃止し、地元へ無償譲渡	H28年3月議会で、施設の廃止条例及び土地・建物の無償譲渡の件を議決予定	—

(3)未実施の施設

No.	施設名	部局名
1	大沢野健康福祉センター	福祉保健部
2	富山市勤労青少年ホーム	市民生活部
3	白樺ハイツ	商工労働部
4	牛岳温泉健康センター	
5	ささみね	
6	グリーンパレス	
7	森のコテージ・木MAMA	
8	牛岳温泉スキー場	
9	岩稲ふれあいセンター(楽今日館)	
10	てんころの館・(牛岳ハイツ)・ (牛岳運動広場)	農林水産部
11	山田りんご体験農園管理施設	
12	山田米乾燥調整育苗施設	
13	オートキャンプ場きらら	
14	割山森林公園	
15	ゆうゆう館	
16	21世紀の森杉ヶ平キャンプ場	
17	八尾白木峰山麓交流施設 (大長谷温泉)	
18	八尾農村環境改善センター	
19	古洞の森自然活用村:ふれあいセンター	
20	大山歴史民俗資料館	教育委員会
21	上滝公民館岡田分館	
22	福沢公民館瀬戸分館	
23	八尾おわら資料館	
24	猪谷関所館	
25	旧水橋郷土史料館	

平成29年1月13日総代会以降の山田地域自治振興から市観光政策課への質問

質 問	回 答
昨年「牛岳温泉健康センター」で研修会の折、いただいた資料（別紙）と今回いただいた資料とでは売上高に3千万円を超える開きがあるが、その理由は？	富山市が示した売上高は、売上高から売上原価（仕入れ額）を控除した額です。正確には「売上総利益」の部分となります。会計上、重要なポイントとなる「営業利益」を求めるためには、下の数式となります。 $\begin{array}{rcl} \text{売上高} - \text{売上原価} & - & \text{販売費及び} \\ \text{(売上総利益)} & & \text{一般管理費} & = & \text{営業利益} \end{array}$
地域住民有志で起業し経営することを目標とした場合の講習会や研修会への講師派遣または講師紹介について考慮していただけないか？	商工会に相談すれば可能と思われます。
地域住民有志で起業した場合の経営補助は期待出来ないのか？	運営費の補助はありません。
施設管理が無くなると地域住民の雇用機会が無くなってしまう。他事業での雇用の創出は提案されないのか？	今のところ、雇用創出の提案はありませんが、「牛岳温泉健康センター」と「グリーンパレス」が継続するのであれば、雇用できるように努めてまいりたいと思います。

質 問	回 答
指定管理をもう一期続け、指定管理料金を右肩下がりの傾斜料金（1年目から5年目にかけて徐々に下げる）で公募出来ないか？	指定管理は、応募する事業者が収支予算計画を立てるものであり、富山市が指定管理料を決められるものではありません。
施設を他の目的（湯治用長期滞留施設・高齢者用介護施設・等）で利用可能としたうえでの、指定管理や民間譲渡は考えられないか？	指定管理は無いと思うが、民間譲渡は可能であると思われます。

